

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 21 年 6 月 18 日 (2009.6.18)

【公開番号】特開 2007-290234 (P2007-290234A)  
 【公開日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-043  
 【出願番号】特願 2006-120440 (P2006-120440)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/05 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/16 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 B

B 4 1 J 3/04 1 0 3 H

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 23 日 (2009.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インクを吐出するために利用されるエネルギーを発生するエネルギー発生素子と、該エネルギー発生素子への電気エネルギーを供給する電気接続用パッドとが形成された素子基板と、

前記エネルギー発生素子に対応してインクの吐出口が形成されたオリフィスプレートと

、

を有し、

前記オリフィスプレートの記録媒体と対向する面は、

前記吐出口が形成された第 1 の面と、

前記電気接続用パッドに隣接する縁部に沿って、該第 1 の面よりも前記素子基板からの高さが低く形成された第 2 の面と、

を有し、

前記第 1 の面は前記第 2 の面よりも高い撥水性を有している、インクジェットヘッド用基板。

【請求項 2】

前記吐出口は、前記オリフィスプレートの長手方向に延びる吐出口群を形成し、

前記電気接続用パッドは前記長手方向の両端側に各々形成され、

前記オリフィスプレートは、

前記エネルギー発生素子を取り囲む外周壁と、

前記外周壁の内部空間を覆って、前記長手方向に延びる天井部と、

を有する、請求項 1 に記載のインクジェットヘッド用基板。

【請求項 3】

前記オリフィスプレートはネガ型の感光性樹脂から形成されている、請求項 1 または 2 に記載のインクジェットヘッド用基板。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のインクジェットヘッド用基板と、

前記電気接続用パッドと電氣的に接続されて、該電気接続用パッドとともに電気接続部

を構成するインナーリードを備えたフレキシブル配線基板と、  
前記電気接続部を封止する封止材と、  
を有し、

前記封止材は、前記第 2 の面を覆い、前記前記第 1 の面を覆わないように形成されている、記録ヘッド。

【請求項 5】

インクを吐出するために利用されるエネルギーを発生する複数のエネルギー発生素子が  
素子基板の長手方向に沿って形成され、該エネルギー発生素子への電気エネルギーを供給  
する電気接続用パッドが該長手方向の両端側に各々形成され設けられた前記素子基板に、  
該複数のエネルギー発生素子を取り囲むように外周壁を形成するステップと、

前記外周壁の内部空間を覆って前記長手方向に延びる天井部を、該天井部の該長手方向  
の寸法が該外周壁の長手方向の寸法よりも小さくなるように形成するステップと、

前記天井部の上面に、前記外周壁の上面よりも撥水性の高い撥水材を形成するステップ  
と、

を有する、インクジェットヘッド用基板の製造方法。